



Newsletter No.147 2017.11.27

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



11月！神戸では、日が短くなり、そしてかなり寒くなってきました。でも、紅葉はとってもきれいです！ポーポキはいっぱい着込んで外で紅葉を楽しんだり、秋の幸を食べたりしています。あなたのところに秋はありますか？どういうふうに秋を楽しんでいますか？

Popoki's Hot News!



UPCOMING!

12月15日 19:00～

ポー年会！今年はもちよりパーティ！

目玉はバシールにゃんの手作りカレー！

みんなで今年を楽しくふりかえりましょう。

詳細は13頁にご参照ください。

お待ちしております！

新しい翻訳！



ポーポキの友だちがポーポキの本をインドネシア語に訳してくれました！平和って、なに色？はすでにありましたが、「ポーポキ、元気って、なに色？」（シィウィにゃん）、「ポーポキ、元気って、なに色？」（プトリにゃん）、「ポーポキ友情物語」（レイザにゃん）が翻訳され、インドネシア語のセットができました！ありがとう！！！！！！

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのありパンにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「「あった。」と小さな手で、真っ赤なもみじを見せてくれたとき。みんなで秋を感じることができるのは、平和だと思う。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

兵庫医療大学ワークショップ レポート

ありぱんにゃん

10月28日（土）、今年も兵庫医療大学、地域連携プロジェクトの一貫として、ワークショップ「健康って、なに色？」を開催させていただきました。台風が近くまで来ていたということもあり、天気は生憎の雨でしたが、足元が悪い中でもたくさんの方が参加してくれました。普段から医療に携わっている方や地域の方と一緒に、平和と健康について考えたり、感じたり…充実した時間を過ごすことができました。

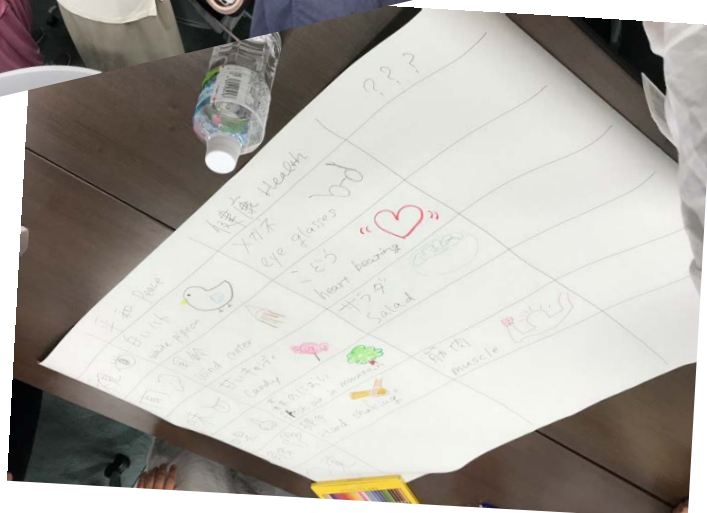
健康でいるにも、平和でいるにも、
まずはポガ！みんなで身体も心もぐ
ーう！と伸ばしました。

うう～う！

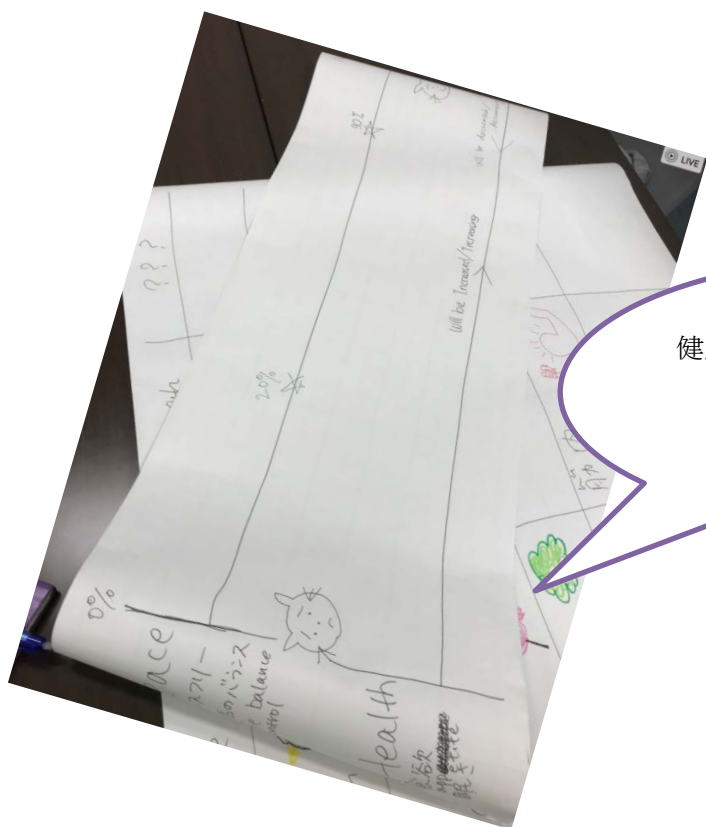
この後
は、ポーポキの本の読み聞かせをし
ました。地域から参加していた方々
にも読んでもらいました。

次は、五感を使って「平和」「健康」
といえは何か、思いつくものを表に
書いていきました。

どのグループも絵を
描いて、かわいくまと
めているね。



最後に、健康と平和の指標はどんなものか、
絵や表、図にあらわしていききました、



健康と平和は別々に考えること
ができないし・・・
うう～ん、難しい！



たくさん悩んで、たくさん話して、最終的に本当にいいワークショップになりました。私も、健康と平和の関係を改めて考えさせられた良い時間でした。ポーポキ、来年もやりたいね。

11 月初めにさとにゃんと二人で大槌町に訪れました。みなさんとゆっくり、いろいろな話をしたいと思ったからです。11 月にしたのは、ろにゃんとさとにゃん、そして大槌のみなさんの都合を合わせた結果ですが、そこで私にはささやかな願望が生まれてきました。それは、大槌の紅葉をみたいと思っていたのです。

今回も「ボランティア」、そして「研究」を目的に行くことにしましたが、紅葉を見ることはボランティアでも研究でもなく、ただ単に自分の好きなものを楽しむことです。阪神・淡路大震災以来、いろいろな人と「ボランティアとはなにか？」という話をしてきましたが、ボランティアは楽しんではいけないのでしょうか？私は楽しむのも大事だと思う。勝手に一人で楽しむことは別ですが、一緒に紅葉をしている樹を見たりすると、自らの人間性や感情に気づくことはあります。計画はできないし、意図的に狙うと余計なお世話になるけれど、一緒に感動することこそがボランティアの大事な役割だと思います。もちろん、ポーポキも感動を共有します。





大槌町の紅葉といえば、当然ながら破壊された町に桜の木やもみじは一本もありません。今、立っているのは電信柱！しかも、電線がまだないものが少なくない！建物も増えたりしているけれど、今は電信柱の町です。それらが色鉛筆だったら、私はワクワクしますが…。



今回、約半年ぶりに見た町は、震災後に初めて出会った「大槌」とは違う町のようにでした。変化についていけない気持ちの私でしたが、住民の中で戸惑っている人も多いようです。今まではあまりにも長かった。そして、今の変化があまりにも激しい。建物は増えてきたが、住んでいる人は？買い物客は？生活は？コミュニティは？

前から言われている 14.5mの堤防は形になりつつあります。壁を想像していたが、どちらかという長い斜面です。海側にいると、町が見えないし、町側にいると海が見えない。それでも不安という方が家を建てる前に既に土盛りされた土をさらに 30 cm程上げています。その30cmはどういう意味をもつのでしょうか。14.8mになったら、安全？安心？どうすれば人々が安心して街づくりに励むことができるのかしら。復興は本当に難しい。

ところで、私には大好きないところがあります。彼はラグビーの大ファン。2019 年に開催されるラグビー世界大会に来るそうです。釜石に建設中のラグビー場を観に行き、彼に写真を送りました。彼のコメント。「ラグビーのためにすごいものを作るのね。」私はラグビーのことはよくわかりませんが、いとこと一緒に見に行きたい。そして、その頃に大槌町にも。その頃の大槌町はどうなっているのでしょうか。またまた「わからない」町になっているでしょうね。でも、わからない町であっても、活気がある、笑顔があふれている町であってほしいね。大槌町のみなさん、その前にも私は行きますが、2019 年の秋、いところをよろしくお願いします。ひょっとして美しい紅葉も見られるかもしれませんね。



今回もお世話になりました。どうもありがとうございました！

先月のポーポキ通信に 9 月の話と 10 月の単語を紹介しました。今回は、10 月の話を紹介します。今回は、新しいお話しも訳もありませんでしたので、日英の話だけにします。この活動は、とりあえず半年ということで、10 月の話が最後です。ご協力、ありがとうございました。

10 月の単語：借り上げ住宅（かりあげじゅうたく）、地震保険（じしんほけん）、復興（ふっこう）、減災（げんさい）

おはなし

ポーポキの友だちのペンちゃんは借り上げ住宅に引っ越ししました。

ポーポキ：良（よ）かったね、ペンちゃん！避難所（ひなんしょ）より静（しず）かでいいね。しかも、ペンちゃんの新（あた）らしい学校（がっこう）からは近（ちか）い。

ペン：前（まえ）のおうちや町（まち）が大好き（だいす）きだったので、はやく復興（ふっこう）して、新（あた）しいおうちを建（た）てたい！

ポーポキ：早（はや）くできるといいね！でも、耐震性（たいしんせい）を確認（かくにん）してね。だって、ペンギンも地震保険（じしんほけん）には加入（かにゆう）できない！

ペン：そうね！ペン、学校（がっこう）で減災教育（げんさいきょういく）のお手伝（てつだ）いすることになります。足（あし）が短（みじか）いけど、一生懸命（いっしょうけんめい）に逃（に）げることを見（み）せる

よ！

ポーポキ：それはいいけど、逃（に）げる前（まえ）に災害（さいがい）の種類（しゅるい）や一番（いちばん）安全（あんぜん）な対応策（たいおうさく）を確（たし）かめようね。

ペン：コアラばあちゃんも入（い）れて、みんなでたのしい減災（げんさい）方法（ほうほう）を考（かんが）えよう



英語

Words for October: subsidized housing, earthquake insurance, recovery, disaster risk reduction

Story:

Popoki's friend Pen-chan has moved into subsidized housing.

Popoki: I'm so happy for you, Pen-chan! It must be much more quiet and nicer than the shelter. And it's near your new school, too.

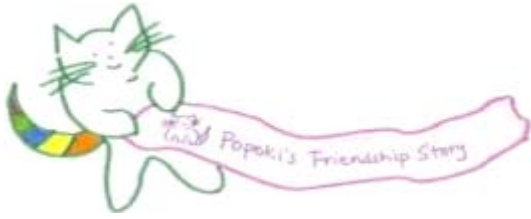
Penguin: I really liked my old school and town, so I want them to hurry up with recovery so we can build a new house!

Popoki: I hope you can do it soon. But make sure it is earthquake-safe. Penguins can't get earthquake insurance either, just like cats.

Penguin: Yes, I know. I'm going to help with disaster risk reduction education at school. I have short legs, but I'll show they how fast I can run away!

Popoki: That's fine, but before you run make sure of what kind of disaster it is and be certain to choose the safest strategy.

Penguin: We can invite Grandma Koala, and think together about the best and most fun way to reduce disaster risk!



Popoki's Interview

ろにゃん

このコラムは、ポーポキの友だちやポーポキが会った人々の話を載せるためのものです。書き方や長さは自由なので、形としては「インタビュー」にならないときや、直接的にポーポキに関係がない内容の「インタビュー」もあります。目的は、災害の記憶を風化させないことや、災害を少しでも身近に感じてもらうことで、ポーポキの活動に参加した人のふりかえりの場でもあります。今月はインタビューそのものではなく、「インタビュー」という手法について考えたいと思います。お許してください。



実は、「ポーポキ通信」にいくつかの大失敗をしてしまいました。その一つは、うっかりして、同じ記事を2回も掲載しました。意図的ではなかったにせよ、それは、読者のみなさまや登場人物に大変失礼なことをしたと思うので、お詫びしたいと思います。

しかし、失敗はそれだけではありません。記事の内容でポーポキの友人に不愉快な思いをさせてしまったこともあります。これはあってはならないことですが、実際にありました。ここで再度、お詫びいたします。そして、このようなことが今後起こらないために、この文章を書くことにしました。最後までお付き合いいただければ幸いです。

ポーポキの活動に参加するメンバーにいつも、大変な課題を課しています。それは、「ポーポキ通信」や“Popoki News”の記事を書くことです。目的はまず、活動内容を参加していない人にも共有することです。それと、参加した活動をふりかえることです。少し距離を持ってふりかえると、その活動の意味や自分の動きなどを考えることによって、活動全体に対する理解が深まると同時に、自分の動きや活動全体の内容などを踏まえて次回の活動につないでいくことができるから「ふりかえり」はとても大切だと思います。

出来上がってくる記事は様々です。感想文のみのものもあれば、新聞記事のようなものもあります。これについては、あまり厳しく言ったりはしません。ただ、少し情報を足したり、表現やことばを直したりすることはあります。書いた人の意思と、一般常識やそのときどきの状況を考えて、できるだけ原稿通りに載せるようにします。

ポーポキのインタビューのための記事の多くは、実際に相手とお話して、その話をまとめるという形のものです。事前に依頼して、場所を設定して、そこで丁寧に話を聞く。終わったら、それを文章にする。本来ならば、通信に載せる前に相手に見せるなりにして、その人が了解したうえで載せます。もちろん、人のことばを使うときに引用であることを明確にし、自分のことばと相手のことばを区別します。そして、相手のことばを変えたりしません。

しかしながら「インタビュー」記事や報告記事に前もって面談するということにしない場

合もあります。たとえば、活動中に聞いた話を載せたりすることはよくあります。活動に参加した方々のコメントや、印象に残った話などを記事に入れると、記事そのものが面白くなるし、読者は人の話がでると、内容をより身近に感じたりすることがあるので、読者を引きづけるためにはとても有効な手段だと思います。

そこで問題です。後になって、ふりかえりながら記事を書いてみると、「あの人のあの話はいいいねえ」と思って、文章化します。このときに：

- a. 名前、年齢、住所を明記する b. 名前だけを明記する c. 名前を明記せずに年齢を明記する d. 性別だけを明記する e. その他の特徴を明記する

みなさんはどうしますか？自分が相手だったら、どうしてほしい？

この問いかけに答えるためにはまず、その人は話していた時に、自分が喋っている内容がその後、文章になる可能性について意識していたかどうかを知る必要があります。言い換えれば、あなたはその人にそうするかもしれないと言ったかどうか。言っていなければ、本人に確認する。確認できなければ、名前はもちろん、その人を特定できるようなことは書かない。年齢やジェンダーなども個人のものなので、許可を得ましょう。写真と同じように、言葉は個人情報です。共有することは大切ですが、そのことを大事にだいにじにお借りして、大事にだいにじに載せましょう。



長くなりましたが、少しでも「ポーポキ通信」を楽しく読んでいただけるために、執筆の原則をまとめてみました。そして、最後になりますが、今まで「ポーポキ通信」の記事を読んで、不愉快な気持ちになった方々へ再度、お詫びをいたします。今後、一層気を付けるように努力しますので、今後ともよろしく願いいたします。にゃんの悪気もにゃいからにゃ。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 114

今月のテーマは、寒さに負けない！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、丸くなりましょう。頭や手、足、しっぽを中に入れて、できるだけ小さくなりましょう。暖かくなりましたか？
 3. 次は、立って、小さくなっていた手や足を空までストレッチ！
 4. 最後はもう一度丸くなりました。今度は仰向けになってから。左右にゆらゆらしてみても良いね！
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：12月 15日 19:00～ ポー年会！神戸学生青年会館！

- 12.5 高校の講師のためのポーポキ・ワークショップ、兵庫県教育研究会
国際理解教育部会@JICA関西！
- 12月 ポー年会 19:00@神戸学生青年会館。12月8日までにメールで参加希望を伝えてください。合わせて、持ってくるものも教えてください。参加費は参加人数や、食べ物・飲み物を持ってきたかどうかによって当日きめさせていただきます。沢山の参加をお待ちしています！
- 12.21 ポーポキ@ガジャマダ大学(インドネシア、ジョグジャカルタ市)
- 2018.2 ポーポキと友だち@大槌町
- 2018.3.17 アート、医療、災害についてのシンポ&ワークショップ @灘区民ホール！

ポーポキの友だちから

新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック 2017年

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange
<http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！」<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』
2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.”
International Feminist Journal of Politics. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Dementia, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なにに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え]
http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色？』「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニソン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10





わたしにとってのポーポキ

ケニアでの生活・国際協力活動を通して

まりにゃん

もしもポーポキがケニアに住んでいたら、きっと現地の人たちとお話をするのが好きになることでしょう。ケニア人はとてもタフです。毎日難しい状況の中、生活を送っています。ケニアでの平和というと、法律や政治における国家レベルの平和というよりは、世帯や村における家庭レベルの平和に凝縮されていると気がつくことでしょう。



「メイズ畑で遊ぶ子供たち。」

ケニアは東アフリカの中で最も発展している国です。ケニアの東海岸にあるモンバサ港は、ケニアのみならず、ウガンダやタンザニアの輸出入をも担う重要な港です。しかし、ケニアの政治は汚職なしには語ることはできません。人々は政治家の足の引っ張り合いに疲れてき

ています。今年 8 月に行われた大統領選挙では、投票結果を巡って対抗馬が最高裁判所に不正投票の申し立てをし、初めてその申し立てが受理され選挙結果が無効になりました。私と同様、ポーポキもこのニュースにうれしくなることと思います。ですが、公正な政治への道のりはまだまだです。

ポーポキがケニアに住んでいても、戦争・紛争を見ることはないでしょう。ケニア北部、ソマリアとの国境地帯でのアル・シャバábととの衝突を除けば、ケニアでの生活もそんなに危ないものではありません。田舎に行けば行くほど、みんな身の回りの平和を毎日ご近所さんと確かめるかのように生きています。庭で作った伝統野菜を友達と分けたり、近所の人たちのために料理をしたり。子供たちが教育を受けられるようにしたり、きれいな水が飲めるようにしたり。村全員で結婚式やお葬式を盛大に行ったり。ケニア人は連帯して、ささやかな平和を分かち合いながら生きていっているようです。

国が農村部のインフラまで整備ができればいいのですが、なかなかアフリカの国々にとってそれは難しいことです。そのために、貧困層の底上げという観点では、国内外の援助は非常に重要です。ポーポキも、衛生的なトイレがあって、きれいな水が飲めて、ビクトリア湖の水位が安定に保たれるような環境で生活したいと思うでしょう。そうすればポーポキはビクトリア湖で捕れた活きのいいティラピアを、ケニア人と同じように沿岸レストランで食べることができます。生活水準を上げるための努力は骨の折れるものです。ですがケニアでは、援助の力を借り、その努力が実っているケースがいくつもあります。

先進国にいる私たちと同様、ケニア人も日々の平和を獲得するために努力しています。細かいところは違えど、同じ人間（猫?）です。きっとポーポキは、いつも平和学の教授に可愛いがってもらっているのと同じように、ケニアの女性たちから可愛がられるのもまんざらではないのだと思います。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!